

サステナブルな未来をおもう

愛・地球リレーシンポジウム2025

Aichikyū Relay Symposium 2025, The 20th Anniversary of The 2005 World Exposition, Aichi, Japan



第3回シンポジウム(最終回) 2025年 9月13日(土) 13時-16時

会場: 愛・地球博記念公園地球市民交流センター体験学習室(愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1)

開催概要

第3回シンポジウム テーマ「念う(おもう): 未来に向けた私たちの約束」

愛・地球博がめざした持続可能な社会の創造をテーマに、過去(懐う)・現在(想う)・未来(念う)の3つの時代を見つめ、3回のリレー形式でシンポジウムを開催します。第3回シンポジウムでは、未来社会の担い手である各国のユース(6カ国出身の学生たち)が、これからの「愛・地球」を考えます。リレーシンポジウムやフィールドワークを通して愛・地球博の理念を学んだユース・アンバサダー同士が議論し、未来に向けた約束を宣言します。

プログラム

総合司会: 加藤 愛 フリーアナウンサー

1 基調講演 「次世代のLove the Earth」 講師: 平原 依文

2 愛・地球活動のポスター発表

「自然の叡智」というテーマのもと、愛・地球博が目指したサステナブルな社会の実現に向けた活動を行っている団体による発表セッション

3 パネルディスカッション

テーマ: 「私が宣言する地球の愛し方とは?」

パネリスト:

フラディ パエ (Flady Pae) インドネシア共和国
リードルリサ マリア (Riedl Lisa-Maria) オーストリア共和国
ディク デリアントニー (Diku-Dery Anthony) ガーナ共和国
リュウ カイケイ (Liu Haihui) アメリカ合衆国
テイラー ヒース (Taylor Heath) オーストラリア連邦
島田 幸弥 (Yukiya Shimada) 日本

ナビゲーター: 古澤 礼太 中部大学 国際ESD・SDGsセンター長・教授

4 宣言文の発表

終了後: 交流会
(申込不要・無料)



加藤 愛



古澤 礼太

2025



平原 依文

HI合同会社代表、
青年版ダボス会議
One Young World
日本代表



フラディ パエ



リードルリサ マリア



ディク デリ



リュウ カイケイ



テイラー ヒース



島田 幸弥

スペシャルゲスト

竹下 景子 (俳優)

スペシャルゲストとして、愛・地球博で日本館総館長を務めた俳優の竹下景子さんに御登壇いただきます!



©藤山紀信

参加申込み

募集人数: 120名 (申込先着順)

募集締め切り: 9月10日(水)

右記の二次元コードよりお申し込みください。

お問い合わせ: office@aichikyū.jpn.org

※プログラム・登壇者は予告なく変更する可能性があります。



from
2005



主催: 愛知万博20周年記念事業実行委員会

愛知万博20周年記念事業

愛・地球博20祭

協力: 一般財団法人 地球産業文化研究所 (GISPRI)、愛知県長懇話会SDGs企画委員会、中部ESD拠点協議会 (国連大学認定RCE Chubu)

中部圏SDGs広域プラットフォーム、環境省中部環境パートナーシップオフィス、NPO法人 愛・地球博ボランティアセンター



【登壇者・ポスター発表者紹介】

基調講演

平原 依文 HI合同会社代表、青年版ダボス会議One Young World日本代表

小学2年生から単身で中国、カナダ、メキシコ、スペインに留学。東日本大震災をきっかけに帰国し、早稲田大学国際教養学部に入學。新卒でジョンソン・エンド・ジョンソングループ、ヤンセンファーマ(株)に入社し、デジタルマーケティングを担当。その後、組織開発コンサルへ転職し、CMOとしてマーケティングを牽引しながら、広報とブランドコンサルティングを推進。「世界中の境界線を溶かす」を実現するために、HI合同会社を設立。SDGs×教育を軸に、世界中の人々がお互いから学び合える教育事業を国内外の企業・行政・教育機関に展開している。Forbes JAPAN2021年度「今年の顔100人」に選出。

パネルディスカッション

フラディ パエ Flady Faliyenco Franggaratz Abubakar Pae

インドネシア共和国出身：名古屋大学大学院国際開発研究科

リードルリサ マリア Riedl Lisa-Maria

オーストリア共和国出身：名古屋大学大学院法学研究科

ディク デリアントニー Diku-Dery Anthony

ガーナ共和国出身：南山大学人文学部キリスト教学科

リュウ カイケイ Liu Haihui

アメリカ合衆国出身：名古屋大学大学院環境学研究科

テイラー ヒース Taylor Heath

オーストラリア連邦出身：中部大学国際交流センター日本研修プログラム

島田 幸弥 Yukiya Shimada

日本出身：中部大学国際関係学部

ポスター発表

環境

- 藤前干潟ユース (NPO法人藤前干潟を守る会)
- GAIA (生物多様性あいち学生プロジェクト)
- 親子ハイクラボ あいち(登山部あさひ)

社会

- 愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター〔CCC〕
- 愛知学院大学大澤ゼミ
- インドネシア留学生協会名古屋支部

経済

- 南山大学SDGs普及啓発団体CLOVER
- 日本福祉大学千頭ゼミ
- 中部サステナ政策塾 (中部ESD拠点協議会〔RCE Chubu〕)

スペシャル・ゲスト

竹下 景子 俳優

愛知県名古屋市出身。東京女子大学文理学部社会学科卒業、NHK『中学生群像』出演を経て1973年NHK銀河テレビ小説『波の塔』で本格デビュー。映画『男はつらいよ』のマドンナ役を3度務め『学校』では第17回日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。2007年、舞台『朝焼けのマンハッタン』『海と日傘』で第42回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。テレビ・映画・舞台への出演の他、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長をはじめ「世界の子どもにワクチンを日本委員会」ワクチン大使、国連WFP協会アンバサダーなど幅広く活動している。

ナビゲーター (「愛・地球リレーシンポジウム2025」プロデューサー)

古澤 礼太 中部大学 国際ESD・SDGsセンター長・教授
名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。在学中に愛・地球博の「市民プロジェクト」等に参加。2007年4月より中部大学の研究員、講師、准教授を経て、現在は国際ESD・SDGsセンター長・教授。

総合司会

加藤 愛 フリーアナウンサー
岐阜県養老郡養老町出身。中京大学法学部卒業後、石川テレビ放送に入社。その後にCBCテレビに移籍、『サンデードラゴンズ』第13代アシスタント。2024年10月よりフリーアナウンサーとなる。

「愛・地球リレーシンポジウム2025」の軌跡

第1回シンポジウム

場所：愛・地球博記念公園
開催日：2025年4月19日(土) 地球市民交流センター 体験学習室

<テーマ> 懐く：愛・地球博のレガシーとは何か？

<プログラム>

- 基調講演「愛・地球博が目指したもの」
講師：中村 利雄 元 2005 年日本国際博覧会協会事務総長
- ポスター発表
「自然の叡智」というテーマのもと、愛・地球博が目指した「サステナブルな社会の実現」に向けた活動実施団体による発表 (環境・社会・経済：各3団体)
- パネルディスカッション「愛・地球博の理念は生きているか？」

パネリスト：

- ① 吉澤 卓 100人の本屋さん店主、大東文化大学社会学部非常勤講師
- ② 大棟 耕介 NPO 法人日本ホスピタル・クラウン協会理事長
- ③ 森理 恵子 CBC ラジオディレクター (テラ・プロジェクト)
- ④ 信時 正人 和歌山市特別顧問、神戸 SDGs ユニット長
- ⑤ 佐藤 有美 長久手市長

ナビゲーター：

古澤 礼太 中部大学 国際ESD・SDGsセンター長・教授
加藤 愛 フリーアナウンサー

- ユース・アンバサダー紹介 (5大陸6カ国の学生6名)

第2回シンポジウム

場所：愛・地球博記念公園
開催日：2025年8月11日(月・祝) 地球市民交流センター 体験学習室

<テーマ> 想う：SDGs時代の愛・地球とは？

<プログラム>

- 基調講演「SDGs時代の自然の叡智と地球大交流」
講師：福井 昌平 元 2005 年日本国際博覧会チーフプロデューサー
- ポスター発表
「自然の叡智」というテーマのもと、愛・地球博が目指した「サステナブルな社会の実現」に向けた活動実施団体による発表 (環境・社会・経済：各3団体)
- パネルディスカッション「グローバルな愛・地球とは？」

パネリスト：

- ① 坂本 健太郎 豊根村役場職員
- ② 川西 太士 株式会社EFK代表取締役
- ③ 甲斐 和歌子 公益財団法人ジョイセフ職員
- ④ 杉山 範子 東海学園大学教授
- ⑤ 寺社下 茜 特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ理事

ナビゲーター：

飯尾 歩 元中日新聞論説委員
古澤 礼太 中部大学 国際ESD・SDGsセンター長・教授

- ユース・アンバサダー活動紹介